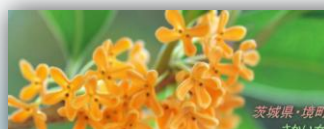


きんもくせい

~We Love Sakai~



2015年6月 NO.6

株式会社塚原牧場 ～ 塚原昇社長 ～



証券会社を退社後、梅山豚の事業を引き継いだ塚原社長は大変な努力と研究を重ねながら、難しいとされる梅山豚の生産に取り組み、今や高級食材として一流のホテルやレストラン・デパートで取引されています。境町のふるさと納税の記念品にもこの幻と呼ばれている豚肉やその加工品が使われ、選べるようになっていきます。

発行者:さかい女性ネット(SJN)

TEL:090-5408-9000

<http://kinmokusei7.webnode.jp/>



議員さん こんにちは♪

No 6 ～飯田進議員～

Q:梅山豚（めいしゃんとん）について教えてください。

A: 平成元年に父親が中国から輸入した。その後、中国が輸出を止めたので、日本にいる純血種は塚原牧場と農水省に100頭いるだけ。希少種である。

Q:他の養豚とは違う飼育の苦労がありますか？

A: 一般的な豚に比べて生産するのに手間と時間と土地が必要だ。大量生産はできない。梅山豚は世界一の多産で、小さく生まれるため飼育は難しく授乳をグループ分けするなど飼育法を工夫した。また出荷までに1年近くかかる事などから土地が必要になる。以前は放牧していたが放射能の不安もあり、今は豚舎で飼育している。飼料は独自に開発した。飼料米や麦茶の搾りかす、パン粉、おから、芋の皮など人間の食物の副産物を加工している。人間と豚は共生できると考えている。

Q:TPPの影響はありますか？

A: その流れを止める事は出来ない。養豚業が生き残っていくのは大変だ。現在、国内に5000ほどある業者の6割はなくなるだろうと言われている。梅山豚は特徴のある品種だし、品質アップのための努力をしているので外国産にも対抗できると考えている。また、企業化、システム化して従業員も安心して働ける職場づくりをしている。お客様に長く愛して頂ける商品を作り続けたい。

Q:境町戦略会議のメンバーとしてはどんな活動をされていますか？

A: 月1回会議に出席する。給食メニューにクックパッドとの提携を提案した。単においしさを追求するだけでなく、（子どもが美味しいと言った）メニューをWebで調べて家でも作ってみるなど、子どもとお母さんの共通の話題になるといい。

Q:圏央道が開通しましたが町の活性化に繋がりますか？

A: 定住者が増え、人口増加を期待するところだが、交通の便がよくなるということは境町へ来る人も、町から出て行く人も多くなるだろう。境町にとってはチャンスであるが、ピンチにもなりうる。

Q:境町の若者にメッセージをお願いします。

A: 私は20～30代に失敗も多かったが、くじけずにやってきて良かったと思う。若者には未来と時間がある。広い世界に飛び出し、失敗を恐れずチャレンジし続けて欲しい。

Q:家事はなさいますか？

A: 自分の身の回りのことは全部やります。今の若い人たちも出来るでしょう。

Q:議員になられた動機は？

A: 元々、政治に関心があった。知人の選挙を手伝う中で自分にもやれる事があると思った。

Q:特にどういうところですか？

A: 将来負担比率が県内ワースト1の財政状況が気になるところ。健全化の為に、行革など町は今、様々な取り組みをしている。

Q:一般質問、政策立案等はどのように作成していますか？

A: 自分で勉強し、質問している。

Q:活動や取り組みはどのように住民に伝えていきますか？

A: 住民の集会に参加する機会などに話をしている。

Q:女性の社会進出についてどう思う？

A: 女性自身がためらっているように思う。男性の「傍にいて欲しい」という甘えや互いに足を引っ張るような社会通念を打破する勇気や自信を持つと良い。

Q:ご家庭で家事をなさいますか？

A: 自宅に要介護者がいる。家族で協力しあう必要があるので料理や洗濯もする。また、介護保険や老人福祉施設などの問題点も見えてくる。

Q:境町の若者にメッセージは？

A: 将来、境町を背負っていくのだから“自分たちの町”に関心を持って、町政や地域活動に参加して欲しい。そういう場・機会を提供したいと考えている。

コーラスグループ コールいずみ 新しい境町の歌、知っていますか？

ふるさと祭りでおなじみのさかい音頭ではなくて、昨年コーラスの「コールいずみ」30周年として作られた「たからもの」です。

メンバー全員がそれぞれの境町への思いと個人の人生を思っ作詞したもので、作曲は中崎亜美さんです。まさに境町にとっての「**たからもの**」といってもいいでしょう。すでにYouTubeにアップされています。

中崎千恵子先生の指導で合唱曲になっていますので、ぜひ見て、お聞きください。

うーん。なんか幸せになれそう・・・2番も素敵よ！

(指揮の中崎千恵子先生。ピアノは作曲者の中崎亜美さん)

♪ 白い日を浴びて輝いた
私を目覚めさす利根の色
朝露光る野菜畑 全部私のたから物
心和む野の花よ ずっと笑っていて
暖かく家ともす灯よ 燃えよ、永久に
心と心つなぐ このメロディーに
幸せ呼ぶ夢乗せて 届けこの町に ♪



こんにちは。赤ちゃん訪問員

境町では、厚生労働省の「乳児家庭全戸訪問事業ガイドライン」に基づき「こんにちは。赤ちゃん訪問員」と呼ばれる事業を実施しています。対象者は出生後1～2か月頃の全世帯の赤ちゃんとお母さんです。

この事業は6年前から始まり、現在は助産師、看護師、保育士などの育児経験者が、年間200人ほどを7人で担当しています。実施内容としては「簡単なアンケート。3か月検診のお知らせ。育児に関する不安や悩みの聴取・相談。体重測定」などがあります。

赤ちゃん訪問員は、30代半ばから60代で、みなさん子育ての先輩です。



最近ではテレビやネットの情報があふれているので、かえって不安になるお母さんも多いようです。そんな時に経験豊富な相談員に来てもらうと心強いですね。つい話しこんで、訪問時間が延びてしまうこともあるそうです。

「赤ちゃんに会えて楽しい仕事です」と、優しい笑顔が印象的な訪問員さん達でした。(← うしろ姿の写真で失礼します♪)

NPO 法人ベルサポート 「町づくり・地域づくりは結婚支援から」 ～菊地長吉理事長～

境町の婚活応援団「ベルサポート」の活動をご存じですか？文化村公民館内に事務所があります。結婚相談や「出会いパーティ」等を通じて、出会いのチャンスや情報を提供し、縁結びのお手伝いをしています。

創立10周年記念事業(H27.5.17)を控えた菊地理事長にお話を伺いました。

菊地さんは退職後、境町町長や茨城県(ふるさとづくり推進センター)のアドバイスを受け、地域づくりの活動を始めました。「西泉田ふるさとづくりの会」を設立し、香取神社の境内を3世代交流の場として1年がかりで整地しました。その後、「結婚支援ボランティアの会」(H.15)を設立しました。更にNPO法人化して「ベル・サポート」(H.17)と改称し、県(いばらき出会いサポートセンター)や町との協力体制のもと、県西・県南地区を中心に活動しています。(公報さかいに出会いパーティ情報を掲載)



会員数1,236名、パーティの開催は通算650回、参加者は延べ19,129名、成婚者は294組で、これは県内2位の素晴らしい成果です。一方、成婚率をみると2.5%と低迷しています。その理由は社会情勢、価値観の変化など様々あるようですが、誰もが理想の相手と理想の結婚生活をと望むもの。

「若者が結婚したい、出来ると思う環境づくりは大事ですし、地域や職場の人々にも若者の結婚を応援して頂きたい」と語られました。(HP: <http://www.bell-support.net/event.html>)

※10周年記念事業「婚活セミナー＆出会いパーティ」は参加者約100人、盛大に行われました。



ジーンズショップ 小久保商店



境町伏木 847
0280-86-5328
営業時間 10:00~8:00
定休日: 水曜日

境町に店を構えて約 40 年。
ジーンズを主体としたカジュアルファッションを扱う、境町町民には馴染みのあるお店。
マニアックなアイテムも扱っ

ているため、他県からわざわざ来てくれる人も沢山いるそうですが、お客さんの基本は地元近隣の方。

ファッションの話はもちろん、地元の情報、何気ない生活の様子など、楽しい会話も込みでお洋服を選べる…そんな居心地の良い空間を目指してきたそう。

洋服の修理はもちろん、要らない服を他のアイテムに変えてしまったりリメイク、はたまた「〇〇を作ってほしい」などのオーダーもお手のもの。7台あるミシンと熟練した技術で、細かいリクエストにも応えています。

町のお針箱としても活用できる頼もしい洋品店です。

農家のお嫁さんにインタビュー

金岡のセロリ農家 ~稲垣寛子さん~

ご本人夫妻、お子さん二人、義理のご両親、そしておばあちゃんの計 7 人家族。

セロリを中心に様々なお野菜を季節ごとに作っています。農家さんゆえ、お野菜は豊富にありますが、家で収穫したもの以外はスーパーで買うことが殆ど無く、同じ野菜のやりくりに行き詰まることも。(笑)

お仕事はやりがいがあり、お客様に「新鮮で美味しかった〜」と言われることは大きな喜びでもあるのですが、自然相手ゆえの厳しさも度々思い知らされるとのこと。

子育て・家事はもちろん、学校の役員やスキップ(子育て支援ネットワーク)のスタッフ等もこなす中で、農家としてのお手伝いがままならないことに、もどかしさを感じる日もあるとか。家族とコミュニケーションを取り、フォローしてもらいながら、いつか「補助」としてではなく、「自分の手で作った!」と誇れるお野菜をお届けしたい…そんな思いを抱きつつ、今は見守ってくれている家族に感謝しながら、日々奮闘している状況だそうです。

(寛子さん ~セロリ畑の中で~)

Facebook: <https://www.facebook.com/jeans.kokubo/notifications/>

猿田彦大神



西泉田の香取神社境内に「猿田彦大神」の石塔があります。

神話によると、猿田彦(猿田毘古)は天孫降臨に際して高千穂嶺への道案内をした神です。身の丈普通の神の 2 倍、高い鼻、赤い顔であったようです。

「猿」が庚申の「申」と通じることから庚申信仰として行われていました。

猿田彦は別名・大田神とも呼ばれ、田の神、豊穡の神ともみなされ、神々の先導をつとめたことから、村の境や峠にあつて悪疫を防ぎ、旅立つ者の安全を守る神でもあります。

現在の猿田彦神社は「地祭方位除、災除、建築・移転開業、商工業の繁栄、豊作・豊漁の開運」の祈祷所として信仰されています。

個人の住宅の敷地内で、猿田彦の石塔を見かけることも多いです。

「猿田彦大神」についてご存じの方がおりましたら、編集部までご一報下さい。



広告を募集しています。
5cm×8cmで1000円です。
ぜひ、ご利用くださいませ

国産小麦100%・無添加生地
の焼きたてパンのお店です

2015.1.15 OPEN!
wapan

茨城県猿島郡境町 161-1-II-105
TEL.0280-33-6964 FAX.0280-33-6965
10:30~18:00・売り切れまで
月曜定休・不定休あり
<https://www.facebook.com/wapan.sakai>

おんなのため息

～聡子の場合～

電車に乗り空席を見つけると聡子はぐったりと座り込んだ。1時間ほどの車中で読むつもりだった本を開く気もおきない。

聡子の母は一人暮らしだが、聡子と姉が嫁ぎ、父が亡くなってからも元気で、聡子や姉がたまに実家に行くこと。

「そんなに帰ってこなくてもいいわよ。わたし忙しいから」などと言い、身の回りも小奇麗にしていた。

それは姑と同居をしている娘達を氣遣つての言葉とはわかっていただけれど、そんな母にすっかり甘えていた。

しかし、先日久しぶりに実家に行ってみると家の様子が変わっていた。

綺麗好きで、いつもきちんとしていた部屋が散らかり、台所の流しも使った食器がそのまま置かれていて、鏡台の上に乱雑にネックレスが散らばっていた。

「どうしたの？母さん」とテレビの前に座っていた母に声をかけると

「転んで腕を捻じったみたいで」と、いたずらが見つかつた子どものように母は笑った。

「大丈夫なの？」さつそく食器を洗ながら訊ねると

「大丈夫。もうかなり良くなった。で、ネックレスが首から出来なくて」

ああ、あの鏡台の前のネックレスはそういう訳だったのね。

おしやれな母が、一人でネックレスの留め金に苦勞している姿を思うと聡子は切なくなつた。

買い物に行つて夕飯を作ると、母はすぐに

「子ども達が学校から帰ってくるのだから、もう家に帰りなさい」などと言う。子ども達は姑に頼んではきたけれど、それほどゆつくりもしておれず、洗濯物を畳み、簡単な掃除をしてから聡子は帰り支度をした。

ほんとは泊まりたい。でも、今は子どもに手がかるし・・・



今回は泊まろう、と自分に納得させて後ろ髪を引かれる思いで実家を後にした。

気がつくや電車の外はすっかり暗くなり、仕事や学校で疲れた人々の顔が窓ガラスに映りこんでいる。携帯にメールが入った。母からだつた。

「今日はありがとう。痛みは無くなったから心配しないでね」

そしてガッツポーズの絵文字が入っていた。

聡子は苦笑して、そして小さなため息がでた。やがて電車の外に聡子の降りる駅の明かりが見えてきた。

子ども達の笑顔が浮かび、聡子は立ちあがった。(完)



グランマのつぶやき

先日、「軍隊のない国コスタリカ」へ視察に行った女性の話を聞いた。憲法で軍隊を持たない選択をして、その費用で教育にお金をかけ、裁判も一市民が無料でできるということを聞くと、コスタリカでできて日本できないわけがない、と考えてしまう。

折から集団的自衛権を巡り、憲法を改正しようという動きが顕著になってきた。5月3日の憲法記念日には賛成派と反対派がそれぞれ大きな集会を開いてそれぞれの主張をしている。どちらの考えもわからなくはないが、この70年間一滴の血も流していない事実は、憲法9条があったからではないか。この憲法を守ることこそ保守の役目ではないの？

※ 議会傍聴しましょう♪

境町議会 平成27年第2回定例会の会期日程(案)

- 6/8(月) 本会議(開会ほか)
- 6/9(火) 本会議(一般質問)
- 6/10(水) 本会議(一般質問)
- 6/11(木) 常任委員会
- 6/12(金) 本会議(委員長の報告、採決ほか)



かんたんレシピ 納豆とんかつ

材料(1人前)

- ・豚肉(うす切り)・・・100g
- ・納豆・・・1パック
- ・ネギ・・・3cm
- ・キャベツ1～2枚 ・トマト
- ・小麦粉・卵・パン粉・油・・・適量



作り方

- ① 納豆にタレ、辛子、刻みネギを加えて混ぜる。
- ② 豚肉2枚を広げて①の納豆を包みこむ。
- ③ 衣(小麦粉→とき卵→パン粉)をつけて揚げる。
- ④ 千切りキャベツ、トマトなど盛り付けて、ソース、醤油、辛子などお好みでどうぞ♪。

編集後記

「最近、街中で野良犬や猫を見かけない」と言ったら、それは無関心だからだと指摘された事がある。

動物愛護団体に保護される犬猫は相変わらず多いし、茨城県の殺処分数は8年連続ワースト1だ。境町では里親のなり手やボランティアも少ないとか。小さな命のいく末はとても気になるのに何もしていないから余計に心が痛む。出来る事を実践しないなら無関心ではないとは言えないね。(M)